



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」
発行所
(一財)日本友愛協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文芸ビル2階
TEL:03-5684-3188
FAX:03-5684-3186
E-mail:yuai@yuaikyoukai.com
http://yuaikyoukai.com
発行人：川手正一郎
編集人：
隔月1回 10日発行
年会費
2,000円

第二十四回 平成二十五年度文部科学大臣賞

友愛ドイツ歌曲コンクール本選会出演者決定

友愛創立六〇周年記念
十一月二十六日(火) 東京文化会館で開催

十月に行われた第一次、第二次予選を経て、十一月二十六日(火)に開催される「友愛ドイツ歌曲コンクール」本選会に出演する顔ぶれが決定した。第二十四回となる今回は、友愛創立六〇周年記念として、初めて東京文化会館小ホールで開催される。音楽家の登壇門として高い評価を得ている本コンクールであるが、今回も評価に違わぬ精鋭が集った。文部科学大臣賞など栄光を目指して熱演を繰り広げる十名の顔ぶれを紙上でご紹介いたします。写真の番号は本選会出演順)



3 堀越 尊雅さん
テノール 学生の部



2 影山 麻利子さん
メゾ・ソプラノ 学生の部



1 久保田 絵美さん
ソプラノ 学生の部



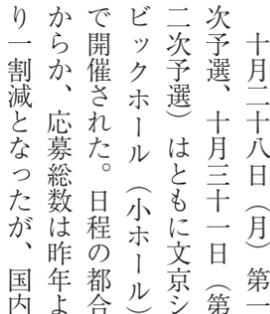
6 金持 亜実さん
ソプラノ 一般の部



5 木村 善明さん
バス・バリトン 一般の部



4 杉原 藍さん
ソプラノ 一般の部



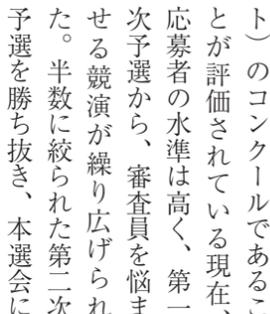
8 那知上 亜美さん
ソプラノ 一般の部



7 松原 みなみさん
ソプラノ 一般の部



10 藤原 未佳子さん
ソプラノ 一般の部



9 中島 桃子さん
ソプラノ 一般の部



次予選、十月三十一日(第二次予選)はともに文京シビックホール(小ホール)で開催された。日程の都合からか、応募総数は昨年より一割減となったが、国内唯一の「ドイツ歌曲(リール)」のコンクールであることが評価されている現在、応募者の水準は高く、第一次予選から、審査員を悩ませる競演が繰り広げられた。半数に絞られた第二次予選を勝ち抜き、本選会に出演が決まったのは十名

(内学生の部三名)

第二十四回の特徴は、声域ソプラノの歌手が多く、艶やかな戦いとなったことだ。昨年は例年になく男性声域が多かったため、本選会にも四名の男性歌手が出演した。今回本選会では、男性歌手二名(内一名学生の部)の出演であるが、ソプラノと男性声域のメリハ

りの利いた舞台となることだろう。本選会出演者は、全員入賞として表彰される。また、第一位受賞者には平成二十五年文部科学大臣賞が授与される。併せて副賞として平成二十六年三月にウィーンで開催されるOJAB主催のコンサートに出演できる。(友愛国際交流事業

の一環として派遣される。来場者の投票で選ぶ「聴衆者賞」も毎年好評を博している。会場の東京文化会館は、JR上野駅公園口を出ると目の前という交通の便の良さである。秋のひととき、是非会場で、出演者の熱演を楽しんでいただきたい。【時間、チケット等詳細は同封のチラシ参照】

軽井沢友愛山荘

利用者の声 友愛ホール大活躍

今夏新設された軽井沢友愛山荘の「友愛ホール」は、以来フル稼働の活躍ぶりである。また展示の「パオ」も好評を博し、友愛山荘の新しい顔は、大人気のような。友愛山荘で合宿を行った二つの団体から、その感想をお寄せいただいた。友愛ホールの活躍振りをご覧いただきたい。充実の視聴覚設備!

早稲田大学政治経済学部

三年 小柳 優太

九月中旬にゼミ合宿で初めて訪れた、友愛山荘の施設や丁寧なサービスに大変満足致しました。特に友愛創立六〇周年事業の一環として建設され、今年七月末に完成したばかりの友愛ホールが素晴らしいです。私が皆様に友愛ホール

のご利用をおススメしたい理由は二点あります。一点目に視聴覚設備が充実している点です。私は二〇インチのスクリーンを用いてプレゼンをさせて頂いたのですが、その大きさには大変驚き、貴重な体験となりました。プロジェクトは起動が早い上、簡単に操作することができてとても便利でした。二点目はこだわりを感じられる内装

パオの前で「弾けちゃえ!」

撮影:ドイル綾佳



パオの造り出す独特の空間。雰囲気を楽しみながらのゼミナール



軽井沢・友愛山荘まで足を運び、友愛ホールを利用して頂いたことで、自由闊達な気分が活動に臨むことができました。また来年以降もぜひお世話になりたいと思います。

早稲田大学政治経済学部

三年 栗木 麻耶

パオの中で教授と和やかに今回ゼミナール合宿で友愛山荘にあるパオを利用させて頂きました。広い緑の芝生の上にとっしりと建つ色鮮やかなパオ。小学生の頃、モンゴル

友愛時評

▼楽天イーグルスが日本シリーズを制した。前身の球団と同時に大阪から仙台に移って応援してきた筆者にとって、九年目の快挙は想像すらできなかった。▼東北地方はだっ広く土地柄も多様だが、この野球に関しては一休感に包まれる。甲子園の優勝旗は未だに「白河の関」を越えていない。今年こそは、と悲願達成の期待が高まったが、準決勝で二校が散ってしまった。強豪校には屋内練習場が整備され飛行機での遠征すら行う今日では、雪国のハンデは過去のものとも言われる。だが、真冬でも河川敷で多くの少年野球チームが競っている関西での光景を見ると、そのレベルの高さと層の厚さに差を感じずにはいられない。▼最近、球場に行く機会が減り、今年も唯一観戦できたのは楽天がリーグ優勝を決めた試合であった。東北地方ではついぞ経験したことのない観客のウェーブが止まらず、審判から異例の注意があったほどスタンドもヒートアップした。▼盛り上がる応援の中で些か戸惑った。選手別の応援歌の半分ぐらいを知らなかったのだ。若手の抜擢や外国人補強の成功による新戦力が快挙の要因だから当然ではある。▼その陰で、ほんの二、三年前にはチームの顔だった選手がベンチ外だった。シリーズの最中に戦力外通告を受けた方もいた。球団創設時から見守っているファンにとって、一抹の寂しさを禁じ得ない。▼だが、活力ある強いチームを維持していくためには、今後も新旧交代は必須だろう。そうした思いで楽天ファンは、未練を残しつつも「君の大リーグ挑戦を応援し、ドラフト一位の松井祐樹投手に熱い期待を寄せるのである。」(七ヶ)

に旅行した際に泊まった大草原のパオを彷彿とさせ、とても懐かしい気持ちになりました。中に入ると、頑丈な木製の骨組みと伝統的な彫刻が印象的で、風通しがよく、心地の良いあたたかな空間でした。

そんな素敵なパオの中で、教授を交えてセミナール合宿を行うことができたので、和やかな雰囲気の中で、議論も活発に進み楽しく有意義な時間を過ごすことができました。機会があればぜひもう一度利用したいです。ありがとうございました。

おだやかな心地よさ

人間塾塾生 小関昭仁

(聖マリアンナ医科大学二年) 友愛山荘は、美しい景観と季節感のある、一言で言えば「軽井沢」を強く感じられる施設でした。敷地内に緑も多く、季節ごとに違った姿を見せてくれるものと想像しました。違う季節の友愛山荘も見てみたいですね。部屋からの景色も良く、軽井沢の空気が感じられ、穏やかな時間を過ごせました。合宿のセミナーで使用させていただいた友愛ホールについて、その外観は格調



仲野好重塾長(写真中央)のもと若人が集う一般財団法人人間塾

高い印象を受けました。更に実際に目の前に立ってみると、入口は重厚で、更にその印象を強くしました。ホール内に入ってみると、室内は木を基調としたデザインであるためか、穏やかさを感じられるものでした。

合宿最終日は大雨でしたが、友愛ホール内は大変静かです。塾長のセミナーおよび学生ミーティングを素晴らしい環境下で取り進むことができました。集中できました。トイレも非常にきれいで広く、利用者のためを思ってくださいっていると感じ、友愛ホールへのこだわりと気配りとをここでも知ることができました。

パオについて、話には聞いたことがありませんでしたが、滅多に接する機会が無いものですので、興味深かったです。パオの中に入った時、想像以上の開放感を感じました。また、中のランプの灯火は、普段の明かりとは違う温かみを感じました。仲間と語りうには最高の場所だと思っています。

穏やかで、心地良さを感じさせてくれる友愛山荘。また利用させていただきたいと思っています。

友愛山荘で、この日の夕食はバイキング方式を取り入れた



友愛山荘で、この日の夕食はバイキング方式を取り入れた

木の香り、木材の優しさ

人間塾塾生 高橋さおり (聖心女子大学四年)

人間の塾生として、九月中旬の三日間、合宿研修の際に使用させて頂きました。常時セミナーを受けている、人間塾四谷事務所のセミナー室とは、雰囲気がいちがいに、さらに明るく、そして清々しい気持ちで利用することができました。

初日、ホールにはじめて入った瞬間に、真新しい木の香りがし、感動したのを覚えています。また、私どもが使用した日程では、大雨という生憎のお天気の日が多かったのですが、時折見えた晴れ間には、大きな窓ガラスから暖かい光が差し込んできたのがとても印象的でした。

友愛山荘の敷地自体も広い芝生があるなど、開放的で緑多い空間であると思いましたが、ホールの立地もたくさん木々の中に入り、また内部の柱や壁面にも木材が多く使われていて、太陽や木々などの自然と共にあるような、そんなホールだったと感じております。そのような恵まれた環境の中で、私はセミナー中、自分の内面について思い巡らせ、より落ち着いて考えを深めることができましたように感じました。

三日間の合宿研修の内、多くの時間を過ごした友愛ホールは、友愛山荘で働いておられる方々やこのホールの温かい思いが伝わってくるホールであったと感じています。今回、使用させて頂き、ありがとうございました。

色鮮やかなチョウの出迎えを受けるカラーでないのが残念!



色鮮やかなチョウの出迎えを受けるカラーでないのが残念!



世界遺産バクタプールの王宮跡など街全体が遺跡である



バクタプールにあるニヤタボラ(五つの屋根の意)の塔



雄大なヒマラヤの山々を上から見下ろす。好天に恵まれ、三六〇度のパノラマを堪能した。思ったより雪が少ないのが気になった

ネパール旅行記

鳩山由紀夫



ネパールへー気楽な旅

「ネパールに行きませんか?」と誘われて、生まれて初めてネパールを訪れた。妻の幸と秘書の芳賀君(友愛評議員)を伴って、講演などのない気楽な旅をした。道すがら沢山の蝶に出合ったので、邦夫副理事長でなくとも、捕虫網があったらなああと、子どもの時代に戻ったような気分になった。

誘ってくれたのは、ネパール人の友人ギリラム氏。室蘭工大卒業で、東京の一流商社に勤めているが、私が総理時代に、友愛の心で世界を繋ごうと東京米山友愛ロータリークラブを、米山奨学金で学んだ留学生を中心に設立した男である。

彼から、ネパールの将来は水力発電にかかっている。その可能性を一緒に見てほしい、ついでに素晴らしい観光地を案内するから行こうと言うことになったのである。

カトマンズー関心事は選挙 バンコク経由で首都カトマンズに着いたのは、九月十四日の昼十二時二十五分。日本との時差は三時間十五分。インドに負うことの多いネパールは、せめてもの抵抗と、インドとの時差を十五分つけているらしい。空港には日本の高橋大使の他、ラワル内務大臣が迎えに来てくれた。愛ローラム氏の話では、次の選挙の後、順調にいけば閣僚になる方とのことだった。

世界遺産ー重要観光資源 かつて王政だった頃、王様が三人の子どもにそれぞれ地域を与えたのが、ハヌマン・ドカ、パタン、バクタプールの王宮跡として残っており、世界遺産にも登録され、有名な観光資源となっている。ヒンズー教と仏教が地域ごとに濃度に差がありながらコロコロと変わっており、大変にユニークで面白い寺院など一見の価値がある建物が並んでいる。憲法の内容については、政党間の詰めが完全でなく、とくに過激なマオイストの中でもさらに過激な一派が抵抗しており、他政党との間で妥協が成立していない状況である。順調にいけば良いのだが。

世界遺産バクタプールの王宮跡など街全体が遺跡である

バクタプールにあるニヤタボラ(五つの屋根の意)の塔

雄大なヒマラヤの山々を上から見下ろす。好天に恵まれ、三六〇度のパノラマを堪能した。思ったより雪が少ないのが気になった

日本との縁ー親子三代の縁 ギリラム氏の計らいで、十五日にはレグミ首相と、そして翌日にはヤダブ大統領との面談の機会を得た。それぞれ、日本のODAなどの協力には大変に感謝しておられたので、温かな会談であった。

私からは、「日本とネパールの外交関係が樹立されたときの日本の首相は祖父一郎であり、父威一郎は外相としてネパールを訪れ、私は友愛の原点はネパールにありと思つて訪れた。三代に亘つて縁を戴いていることに感謝している」と話したところ、大変に喜んでくださった。

高橋大使の話では、レグミ首相は最高裁長官だった方で、余り人と話さないと聞いていたが、そんなことはなく、非常に気が合ったのか、とても穏やかだった。



インドラ・ジャドラ祭の初日。人々が寺院にへばりつくように座っている。信仰の熱気が感じられる。

二人にはそれぞれ制憲議会選挙が予定通り行われるように、指導力を発揮されたといふと申し上げた。とくにヤダブ大統領には、二週間くらい選挙の時期が遅れても全ての政党が参加出来ることのほうが重要であると付け加えさせていただいた。選挙の実施には日本も支援することになっている。

ヒマラヤの山々縁の僥倖さて、観光は見てどころ満載である。まずはブツダ航空のプロペラ機に乗って、一時間ほどのマウンテンフライト。カトマンズから北東の方角に飛ぶ。昨日までは雨季の関係で良く見えなかったと言っていたが、今日は八千メートル級のヒマラヤの山々がきれいに見えた。運も偶然ではないと居並ぶ者で意見が一致した。

高い山ばかりなのでエベレストも目立たないが、く

と、二十五歩進んで木の枝を支えに子を産んだと言った。マヤデヴィは七日後に亡くなったが、この子は幼くして法を説き、仏陀として知られるようになった。人々は仏陀の誕生地に砂岩のマーカーストーンを置き、そしてマヤデヴィ堂を建てた。その遺跡発掘と修復が日本仏教連盟の協力で行われ、今では遺跡の上に美しい白亜のマヤデヴィ堂が建てられている。

陽が燦々と降り注ぐ庭園を裸足になり、マヤデヴィ堂に足を踏み入れた。真ん中に確かにマーカーストーンがあった。宣伝するでもなく何気なく置かれていたが、仏陀が産まれたその場所に立っているのだという感慨に浸った。

壁際に十八人の僧侶が私

と、二十五歩進んで木の枝を支えに子を産んだと言った。マヤデヴィは七日後に亡くなったが、この子は幼くして法を説き、仏陀として知られるようになった。人々は仏陀の誕生地に砂岩のマーカーストーンを置き、そしてマヤデヴィ堂を建てた。その遺跡発掘と修復が日本仏教連盟の協力で行われ、今では遺跡の上に美しい白亜のマヤデヴィ堂が建てられている。

陽が燦々と降り注ぐ庭園を裸足になり、マヤデヴィ堂に足を踏み入れた。真ん中に確かにマーカーストーンがあった。宣伝するでもなく何気なく置かれていたが、仏陀が産まれたその場所に立っているのだという感慨に浸った。

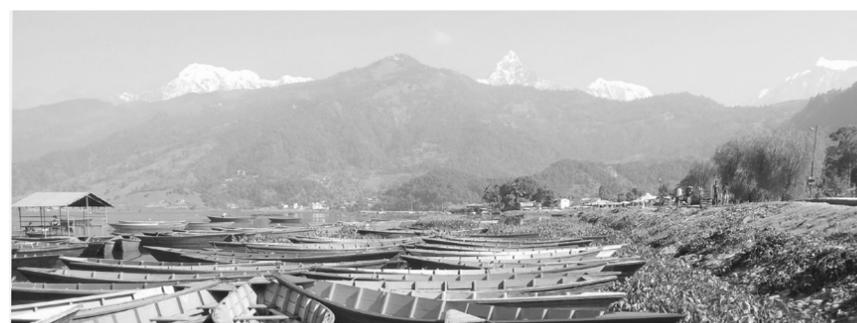
壁際に十八人の僧侶が私



生き神様クマリが乗る山車。金色に彩られクジャクのレリーフが



祈りの書かれた色とりどりの旗が、数え切れない程はためいて



悠々たる山々と河の流れ、穏やかな生活を祈らずにはいられない



市場でヤキイモのような物をパクリ。長手を焼いた感じだ



豊富な野菜、香辛料などが並ぶ市民のための市場。楽しい場所だ

人によるものであった。そのうち、ホテル笠井で昼食をとったが、たまたま笠井社長ご夫妻が来られており、苦労話などを伺うことができた。なかなかおいしい日本料理をルンビニでいただくとは思ってもいなかったことであつた。

ホテル笠井の庭からへりて観光地ポカラへと飛び立った。途中で日本の支援で作られた水力発電施設を視察した。減多にないことなのだろう、施設の職員たちや地元のみなさんがそれぞれ花を手渡しながら歓迎してくれた。

この水力発電はダムで水を貯める方式ではなく、カリガンダキ川の水をパイプとして、地下のトンネルで

一〇〇m落として地下で発電しており、ネパールの総発電量の1/4以上を賄っていた。この方式だとしても砂が入るので、三年に一回水車を替えなければならぬようであった。見事なほどポロポロになった水車の刃が置いてあつた。それでもネパールの電力は非常に不足しており、ひどい日は十八時間停電しているそう。水力が最も有力なので、日本の更なる協力が必要とされていると感じた。

再び山々へ喜びの連続

再びへりに戻り、三〇分でポカラに着いた。夜はネパールの民族の踊りで歓迎された。最後は私たちが一緒にダンスに興じた。翌朝

五時まだ暗いうちにホテルを出て、車で山道を登りて来光を拝むことができた。八〇〇メートル級の山々に朝陽が射していく姿はとも美しい。土地の人に言わせると、最近で最も良く見えた日だとのこと。さすが予想通り運がいい。ネパールに旅行するならば、一押し場所だが、数日いても一度も恵まれなかった日本の団体もいたそうで、朝食で乾杯。

皇族も来られたという、池の中にあるフィッシュテイルロッジで昼食をとり、へりでカトマンズに戻るが、機内で息子夫婦に第三子が生まれたと聞き喜ぶ。生神様クマリ祭りに遭遇

さらに幸運だったのは、

日本友愛協会の事業の一環として行っている植林訪中は、十一年を経過、植林した木々も順調に生育している。本年度も三カ所への植林訪中を実施する。(訪中団募集・日程・詳細は二

今年一月に発表予定)

今月号で三カ所の事業地をご紹介します。いずれも

四、五日の行程で二五年

三月中旬に実施予定。今の内

に訪中の予定を立てていた

だきたい。今、この時期に

中国を訪問し、実際の交流

を体験することは、大きな

理解に繋がることだろう。

第二十四次植林訪中

湖北省孝感市

三月上旬実施予定

本協会が一番多く植林活動を実施している湖北省の

市。武漢の北西に位置する。

第二十五次植林訪中

山西省臨汾市

三月中旬実施予定

古き都太原の西南にあり、中国の歴史の要となっている古都。

第二十六次植林訪中

遼寧省錦州市

三月下旬実施予定

大連の北西に位置する。北の広原において植林活動を行う。



友愛植林訪中

第二十四次・第二十五次・第二十六次

平成二十六年三月実施のお知らせ

カトマンズでクマリと呼ばれる生き神様が、だんじり祭りのような山車に乗って、一年で一回だけ街中にお出ましになるといふ、インドラ・ジャドラ祭の初日に遭遇して、大統領や首相と一緒に見学できたことだ。クマリになれるのは、初潮前の童女で、均整のとれた手足、丸い肩、長い足の指、無傷の身体等三十二の身体的特徴と聖性を持つ等の条件を全て満たした、金銀細工師であるネワール族サキヤ・カーストから選

ばれ、僧侶階級によって特殊な教育を受けるそうである。怪我でもして血が出たら、すぐに交代させられるそう。クマリに選ばれると神様なので結婚してはいけないらしいのだが、実際には六割の子は結婚していると聞き、なぜか安心した。

最終日の十九日は幸の要望で市場を見に行き、生姜やシナモンを買い入れ、満たされた思いでカトマンズを離れた。また二年後に来ますと言いつつ残して。

日本友愛協会 理事長

友愛婦人会だより

文京区男女平等センターまつり
友愛婦人会参加 コーヒーショップ出店・バザー協力
認め合いから始まる男女平等……友愛理念と合致



十月二十六日(土)二十七日(日)の両日、文京区男女平等センターにおいて、「第二十八回文京区男女平等センターまつり」が開催されました。友愛婦人会では、会の活動として恒例になっている認め合いから生まれる男女平等を掲げてワークショップ開催

友愛婦人会からは、一、コーヒーショップの出店
二、団体活動発表の部フ
ラダンスの参加
三、バザーへの品物の提供の三項目での参加が決められました。

友愛婦人会の大川幹事長は、二十五日、二十七日の三日間、文女連岡田会長の体調不良による欠席を補

友愛婦人会のコーヒートップも大変な盛況で、担当していた秋田さと子、五島珠江、鈴木和子、日吉洋



友愛婦人会のコーヒートップは大盛況。美味しいと評判



井田幸子先生(中央)のご指導のもとフラダンスの成果を発表

鳩摩羅什三蔵法師像建立 鳩摩羅什師生誕の地に 大洞龍明

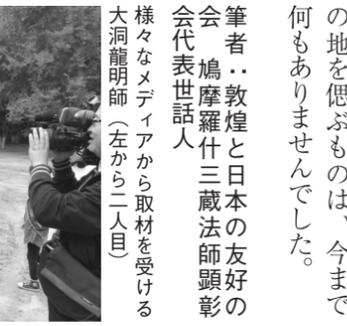
「友愛」五一七号〜五二二号まで連載された、無量寿山光明寺住職大洞龍明師が、この度念願の鳩摩羅什三蔵法師銅像をウイグル自治区クチャ市に建立された。銅像建立にあたっては、鳩摩羅什三蔵法師顕彰会として活動され、鳩摩羅什三蔵法師の想いに報いるかたちで実現出来た。読者の皆様にその報告を写真と共に寄稿いただいたので、ここに紹介いたします。

去る九月十六日午前十一時より、念願の鳩摩羅什三蔵法師銅像を生まれ故郷の古代キジ国王城跡(現ウイグル自治区クチャ市)に造られた杏子(あんず)公園に建立し、無事除幕式を終えました。数年前からこのことの準備のために、ウイグル自治区クチャに十四回



ウイグル人はイスラム教徒であるため、仏教の功業者である鳩摩羅什三蔵法師銅像をクチャ(ウイグル人が九割を占める)に建立することに對する反発がありました。鳩摩羅什師は四十歳の時に、前秦の呂光將軍によつて、キジ国が攻略され、虜として長安に連れていかれました。晩年、長安で「本国に帰りたい」という意思を周辺にもらしていきま

ところが、鳩摩羅什師は七十歳の時に、その念願を果たせず、ついに長安で客死されました。「生まれた土地に帰りたい、というのは人間の純粹な情ではありませか。生まれ故郷の王城跡に銅像を建



てるといふことは、鳩摩羅什師の念願を実現してあげることになるのですよ」と訴えたところ、イスラム教徒の方々も「わかった」と納得してくれました。

今年が、鳩摩羅什師が亡くなられて一六〇年の記念すべき年であります。この年に銅像を除幕できたことは、「鳩摩羅什師の本国に帰りたい」という念願に建立除幕式後、鳩摩羅什三蔵法師を讃えて法要が営まれた



筆者…敦煌と日本の友好の会 鳩摩羅什三蔵法師顕彰会代表世話人
大洞龍明師(左から二人目)

新宿で咲き新宿で散った人
作者/時事川柳研究会会長

時事川柳 服部迪夫 作

遠藤
久々のスター候補に鬚がない
— 埼玉・千葉・栃木にも関東が竜巻銀座と呼ばれれう
— 真夏日
オクトーバーソメイヨシノとカキ氷
— 真夏日よ・さようなら予報士の予報が一致秋の空
— 流行語
今でしよをオイケボリに倍返し
— 春樹・落選
上空を飛んでいった文学賞
— はだしのゲン
松江市がはだしで歩くこと認め
— 宮本さん引退
引退のハナムケ祝う六〇号
— 藤 圭子さん
新宿で咲き新宿で散った人

◆人間が血で争う時代はいつまで続くのか。
イスラエルとパレスチナ、シリアの内戦等、平和を希求する国民と現実の乖離。力と力の時代に平和はなく、人間と自然の破壊あるのみ。
各国のリーダーは、厳しい現実を理解しながら、何故、問題解決できないのだろうか。
素朴な疑問は世界の人々の全てにある。
人間が共存の理念をベースに国益をコントロールしない限り、世界に平和はない。人種、民族、宗教、言語、国家を統御し、共存する時代は来るのか。
どんな時代になろうとも、人間は自らを信じ、自然との共存を目指さなければならぬ。
人性は短い、しかし生ある限り、共存の原点となる友愛を私は主唱する。(K)

